

事業計画

	事業名	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業															
	団体名	認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会															
	事業担当課	国際推進課															
事業概要																	
日本語を母国語としない子どもの学習面及び生活面を支援するとともに、地域の人々に日本語を母国語としない子どもに対する理解を促す。																	
松戸市の課題	<p>松戸市では外国籍市民数が年々増加しており、それに伴い日本語を母国語としない子どもも増加している。こうした子どもたちの中には、言葉の障壁や、文化の違いにより、周囲と円滑なコミュニケーションが行えない、授業を理解できない、就学や就労の情報が得にくいといった問題を抱える者がいる。さらに、地域から子どもが孤立したり、子どもの学習機会や将来の選択肢の喪失につながるものが危惧される。</p>																
事業の目的	<p>① 日本語を母国語としない子どもへ、日常生活や学習に必要な日本語指導及び学習支援を行い、すべての子どもが均しく学び、就学や就職など将来における選択肢を幅広く持ち、真に自立することを促す。</p> <p>② 子どもが地域から孤立しないための時間と場所を提供し、安心して暮らすことのできる環境づくりを推進する。</p>																
事業内容	<p>【事業の目的①を達成するための事業】</p> <p>下記3点を通じて、日本語を母国語としない子どもを対象にした学習及び生活支援を強化する。</p> <p>1-1. <u>定例勉強会の受入れ生徒数を増やす</u></p> <p>現在、毎週3教室5クラスの定例勉強会を実施している。</p> <table border="0"> <tr> <td>文化ホール教室</td> <td>土曜</td> <td>中学生対象</td> </tr> <tr> <td>常盤平教室</td> <td>火曜</td> <td>小学生対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木曜</td> <td>中学生対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>土曜</td> <td>小学生対象</td> </tr> <tr> <td>新松戸教室</td> <td>水曜</td> <td>小中高生対象</td> </tr> </table> <p>日本で生活することに不安を抱く子どもやその保護者等、学習及び生活における支援が必要な層に、当勉強会の存在を十分に周知できていないと考えている。本市転入手続き時に勉強会のチラシの配布や市及び国</p>		文化ホール教室	土曜	中学生対象	常盤平教室	火曜	小学生対象		木曜	中学生対象		土曜	小学生対象	新松戸教室	水曜	小中高生対象
文化ホール教室	土曜	中学生対象															
常盤平教室	火曜	小学生対象															
	木曜	中学生対象															
	土曜	小学生対象															
新松戸教室	水曜	小中高生対象															

際交流協会の広報媒体を通じて、周知活動に力を入れ、当勉強会へ通うことを通じて就学や就職への選択肢を広げてもらう。

1-2. 初級クラスの導入

学習サポートの前に、日常生活のサポートを充実させるため、上記3教室5クラスとは別に、日本語が全くわからない生徒のために、日本語を習得することに特化したクラスの開設を目指す。

1-3. オンライン授業の導入

遠方や遅い時間でも参加できるように、オンライン授業を導入する。まずは、オンライン授業を受講できる機器及びWi-Fi環境がある生徒を対象に開始し、ニーズを分析し、必要に応じて受講環境を提供する。

【事業の目的①と②を達成するための事業】

2-1. 集中勉強会&交流会の担い手を増やす

定例勉強会とは異なる夏休み教室や社会科見学等の企画から当日の運営までを主体的に担うボランティアを募集する。対象は、大学生を中心とし、高校生や社会人も積極的に受け入れる。団体のスタッフだけでなく、地域の身近な大人が担い手になることで、当勉強会の生徒が様々な大人像を見ることができ、将来の選択肢を考えるきっかけを創出する。併せて、ボランティアが定例勉強会のスタッフとして定着することを目指す。

2-2. 地域の理解を得る

ボランティアとして活動することが難しい地域の人々を対象に、当勉強会の活動を見学する機会オープンデイを設ける。参加型のイベントや模擬授業などを実施し、日本語を母国語としない子どもと接する機会を創出し、先入観や偏見を払拭し、日本語を母国語としない子どもへの理解を促す。

2-3. 地域との協働

日本語を母国語としない子どもの多い常盤平団地自治会と連携し、スタッフが常盤平団地自治会館へ赴き、出張授業を実施する。出張授業を通じて、日本語や学習支援の潜在的なニーズの掘り起こすとともに、当勉強会の活動を広く周知する。

【スケジュール】

実施月	取り組み	体制、対象、場所など
通年	1-1. 打合せ2回、チラシ作成・配布、教材準備、授	構成員、外国にルーツを持つ子ども達、各教室

		業 30 回	
	5 月～	1-2. 打合せ 2 回、教材準備、授業 20 回	構成員、外国にルーツを持つ子ども達、常盤平教室
	5 月～	1-3. 講師オンライン環境準備、授業 12 回	構成員、外国にルーツを持つ子ども達、文化ホール教室
	6～8 月	2-1. ボランティア募集 (20 名)、打合せ 2 回、チラシ作成・配布	構成員、外部スタッフ 20 名、外国にルーツを持つ子ども達、文化ホール教室
	9～2 月	2-3. 打合せ 2 回、実施 1 回	構成員、地域住民、常盤平団地自治会館
	9～2 月	2-2. 打合せ 2 回、チラシ作成・配布	構成員、地域住民、文化ホール教室
事業の目標	<p>① 生徒数増 (令和 4 年度末人数+10 名)</p> <p>② オンライン授業を 12 回実施。</p> <p>③ スタッフ以外の者と企画運営する集中勉強会&交流会を 1 つ以上実施。</p>		
協働の必要性 (団体)	<p>松戸市では、将来を支える子どもたちのために様々な施策を展開している。その一環として日本語を母国語としない子どもが地域で孤立することなく暮らしていけるよう、日本語指導及び学習支援を実施することが重要と考えている。当勉強会が、行政と連携することで、行政の抱える課題の共有ができるほか、事業の周知及び会場の確保を一層強化することができ、かつ事業活動の範囲を広げることができると考えている。</p>		
協働の必要性 (市)	<p>松戸市では、将来を支える子どもたちのために様々な施策を展開している。その一環として日本語を母国語としない子どもが地域で孤立することなく暮らしていけるよう、日本語指導及び学習支援を実施することが重要と考えている。行政が、当勉強会と連携することで、言語の障壁や、文化の違いのために、日常生活を送ることにストレスや不安を感じる子どもたちに居場所を提供することができる。また、地域と子どもたちのかかわりを構築し、地域の人々に日本語を母国語としない子どもへの理解や協力を促すことができる。</p>		
事業実施の役割 分担	<p>団 体：事業の実施 (定例勉強会の運営、地域との協働)</p> <p>担当課：会場の提供、事業実施に係る広報活動</p>		
今後の展望	<p>1、2 年目に試験的に実施した事業について評価し、効果的であった事業を継続する。こうした継続する事業が、協働事業終了後も円滑に行える実施体制 (講師確保、会場確保、広報活動) を構築する。</p>		

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 2,889,496	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 41,720	事業費の一部を団体の会計より拠出
	生徒参加費	¥ 270,000	3,000円×3学期×30人
	自己資金の合計額 (B)	¥ 311,720	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額 (D) = (B+C)		¥ 811,720	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	集中勉強会&交流会 外部スタッフ謝金 1,000円×20人×5回
	消耗品費	¥ 50,000	インク・コピー用紙・文房具・手指消毒液、事務用品、マスク、フェイスシールド、パーテーション、非接触型体温計等
	印刷製本費	¥ 170,000	定例勉強会 生徒募集チラシ印刷（日本語・中国語・英語・ベトナム語） 20,000円（20円×250部×4言語） 短期集中勉強会&交流会 チラシ印刷 10,000円（20円×500部） オープンデイ チラシ印刷 40,000円（20円×2,000部） 各教室教材 100,000円（2,000円×50冊）
	使用料及び賃借料	¥ 335,720	定例教室使用 常盤平教室：19,000円×12回、新松戸教室：700円×38回 オンライン教室開催用 ポケットWi-Fi 5,000円×12ヵ月 ZOOM ID 1,760円×12ヵ月
	対象経費の合計 (E)	¥ 655,720	
(その他) 経費	食糧費	¥ 30,000	行事当日担当会員の昼食代 600円×10人×5回
	印刷製本費	¥ 30,000	会報 10,000円×3回
	通信運搬費	¥ 66,000	活動報告会報郵送代 22,000×3回
	その他	¥ 30,000	オンライン会議用PC
	その他経費の合計額 (F)	¥ 156,000	
合計額 (G) = (E+F)		¥ 811,720	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×953円
	定例勉強会の受入れ生徒数を増やすための周知活動（チラシの作成・配布）	11,436 円	2 人 × 2 h × 3 回 × 953 円
	定例勉強会における授業の実施	2,630,280 円	46 人 × 2 h × 30 回 × 953 円
	初級クラスの導入のための打合と授業の準備	15,248 円	4 人 × 2 h × 2 回 × 953 円
	初級クラスの導入のための打合と授業の実施	152,480 円	4 人 × 2 h × 20 回 × 953 円
	オンライン授業の実施	22,872 円	1 人 × 2 h × 12 回 × 953 円
	集中勉強会&交流会の準備	15,248 円	4 人 × 2 h × 2 回 × 953 円
	集中勉強会&交流会の実施	7,624 円	4 人 × 2 h × 1 回 × 953 円
	オープンディの準備	7,624 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 953 円
	オープンディの実施	3,812 円	2 人 × 2 h × 1 回 × 953 円
	地域との協働（常盤平団地自治会）の準備	11,436 円	3 人 × 2 h × 2 回 × 953 円
	地域との協働（常盤平団地自治会）の実施	11,436 円	3 人 × 4 h × 1 回 × 953 円
			人 × h × 回 × 953 円
			人 × h × 回 × 953 円
		人 × h × 回 × 953 円	
		人 × h × 回 × 953 円	
		人 × h × 回 × 953 円	
		人 × h × 回 × 953 円	
		人 × h × 回 × 953 円	
		人 × h × 回 × 953 円	
		人 × h × 回 × 953 円	
		人 × h × 回 × 953 円	
		人 × h × 回 × 953 円	
合 計 (A)	2,889,496 円		